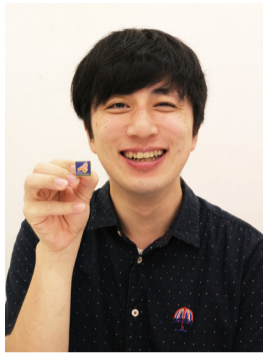


# ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>



てらうち ゆうきさん  
寺内 ゆうきさん  
ラジオでベルマーク PR

お笑いコンビ「ランパンプス」のボケ役。小中高の教員と保育士の免許を持つ「教育芸人」。ひよんなことからベルマーク収集にはまり、財団も見学。ラジオの深夜番組などでPRしてくれました。千葉県出身。31歳。



くらみつ ようこ  
倉光 陽子さん  
豊橋市をあげてマーク収集に傾注

1000万点を目標に全市でベルマークを集めている愛知県豊橋市で、2016年4月の運動開始当初から教育委員会教育政策課主査として運動を担当。地元の出身で、市内の小中学校と企業、市民の架け橋となっています。



かまき なおみ  
釜木 尚美さん  
ツイッターでも発信中

大阪府摂津市立別府小の元図書司書。図書館を拠点に児童主体のベルマーク運動を展開。ベルマーク便りコンクールではユニークな発想と知識の深さで優秀賞を3度も受賞し、ツイッターでもベルマークのPRに努めています。



わきがわ まさゆき  
脇川 雅之さん  
全国の説明会を駆け巡って

協賛会社のラッキーベル(兵庫県神戸市長田区)営業部でベルマーク担当者。2012年に入社以降、全国の運動説明会に参加、「世代を超えた共通言語」としてベルマークの普及に携わってきました。明石市在住。6歳と3歳のお子さんがいます。

## 第2陣ベルマーク大使は わたしたちです！

「ベルマーク大使」の第2陣が決まりました。地域で地道な運動を続けている方や、ベルマークを商品に付けている協賛会社の方、芸能界で活躍されている方など、今回も多彩な顔ぶれです。2016年1月に発表した第1陣の7人の大使とともに、今後もベルマーク運動の発展のために一役買っていただきたいと思ひます。(2・3ページで新大使の活動を紹介しています)

いたさかななの  
板坂菜々乃さん



いたさかまなか  
板坂麻菜華さん



4姉妹で  
鹿児島「推進の会」  
共同代表に

18歳の三つ子と16歳の妹の4姉妹。中学生のとき被災地に行き、支援活動に興味を持ちました。6年前から会に参加、月に1回マークの仕分けをしています。平嶺光子さんに推薦されて、今年6月から共同代表になりました。活動の意義を広め、回収箱を設置してもらおうと、「営業」もします。最近はテレビやラジオへの出演依頼もきて、学業との両立で大忙しです。

いたさかまりな  
板坂菜梨菜さん



いたさか  
板坂ありささん



まえひらきょうこ  
真栄平 京子さん  
沖縄で運動の輪を広げる

那覇市立小緑小学校でPTA活動としてベルマーク運動を始め、毎年のように冷水機の購入を実現。子どもの卒業後も同校を拠点に活動しつつ、近隣の学校からの要請にもこたえるなど、運動の輪を広げるために尽力しています。

## 大使 第1陣のみなさんも大活躍中



かなすぎやすぞう  
金杉 恭三さん  
あいおいニッセイ同和  
損害保険社長



こじまかなえ  
小島 香奈恵さん  
神戸市立魚崎小学校  
PTAベルマーク委員長



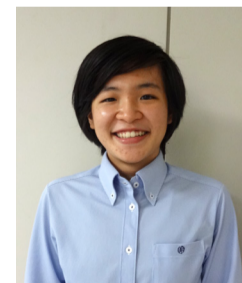
さんだやすこ  
三田 靖子さん  
仕分けボランティア  
グループ火曜会会長



はたのたいさん  
幡野たいさん  
山梨・上野原小学校  
マーク仕分け半世紀



ひらみみつこ  
平嶺 光子さん  
かごしまベルマーク  
運動推進の会前代表



まつした ゆめ  
松下 友要さん  
中野学園オイスカ高校  
奉仕活動委員長



まつもとあきら  
松本 哲さん  
ジブラルタ生命保険  
執行役員

※オイスカ高校の委員長はこの秋に澤根日向さんから松下友要さんに引き継がれました。魚崎小学校PTAの委員長は今年4月に友国美加さんから小島香奈恵さんに引き継がれました。

## 購入額の1割が援助資金に／ガイド後期号発行

ベルマーク預金で買える品物を集めた「お買いものガイド」の2018後期号がこのほど完成しました。10月下旬までには各学校にお届けします。

ベルマーク預金で買いものをする、商品を提供する協力会社を通して購入額

の1割がへき地校や災害被災校などへの援助資金に回ります。自分の学校の備品を充実させることが、ハンディのある学校への支援につながるのです。

ここ数年は年間購入総額が約5億円で推移しており、毎年5000万円の援助

資金が生まれています。「お買いものガイド」が届いたら、さっそく必要な備品の購入をご検討いただければ。ガイドに載っていない商品も買うことができますので、各協力会社かベルマーク財団にお問い合わせください。

